

# 令和7年度 学校評価報告書



行方市立麻生小学校

## <学校評価報告書 目次>

令和7年度 行方市立麻生小学校グランドデザイン	(P1)
1 本年度学校経営の評価	(P2~3)
(1) 短期目標の達成状況(グランドデザイン)	
(2) 学校運営上の統計情報	
① 学習指導	
② 生徒指導	
③ 体育・保健安全	
④ 勤務状況	
2 成果と課題及び次年度に向けた取組	(P4~6)
(1) 学習指導	
(2) 生徒指導	
(3) 体育・保健安全教育	
3 評価資料	
○ 令和7年度 学校評価アンケート結果	(P7~13)
○ 令和7年度 日課表及び勤務表	(P14)
○ 令和7年度 年間行事予定表	(P15)



# 令和7年度 行方市立麻生小学校グランドデザイン

## 学校教育目標

### 【茨城県教育の目標】

- ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う
- 郷土を愛し  
協力しあう心を育てる

### 【R7 学校教育指導方針】

すべての子どもの可能性を引き出す  
活力ある学校づくり

- ☆ **めざす児童像** ☆  
**夢中になって あそぶ子**  
**そうぞう力をはたかせ 学ぶ子**  
**相手を うやまう子**

## 夢をはぐくみ 未来に向かって進む力の育成

### 学校組織目標

「ALL TEAM for ALL」  
～ すべてのチームが、一人一人すべての子どもたちのために ～

### 学校経営の重点

- 自分の考えをもち、主体的に学び合う授業づくり 《学びプロジェクト》
- 自他のよさを認め合い、高め合える人間関係づくり 《心プロジェクト》
- 最後までやり抜く、たくましい心とじょうぶな身体づくり 《体プロジェクト》
- 安全で、安心して学べる学校づくり

### 【行方市の教育基本目標】

新たな価値を創造し  
郷土と社会の未来を切り拓く人間の育成

- 【行方市学校教育プラン ☆5つの矢】
- 1の矢 学力向上
  - 2の矢 豊かな心
  - 3の矢 いじめ、長欠・不登校対策
  - 4の矢 特別支援教育
  - 5の矢 幼児教育 Base
- 基本的な生活習慣の定着、健康・安全教育

### ☆めざす学校像 ☆

- 笑顔が広がる学校
- 一人一人が力を発揮できる学校
- 地域に信頼される学校

### 確かな学力 《学びプロジェクト》

- ◇ 児童主体の学びを実現する授業づくりに取り組みます
- ◇ 麻生小授業スタイルの共通実践を図ります
- ◇ 個別最適な学習の充実と協働的な学びの場を提供します

【数値目標】 児童対象アンケート ( )はR6

- ☆ 授業で自分の考えを伝えることができた 80%以上
- ☆ 授業の振り返りで自分の学びを確認できた 80%以上
- ☆ 県学力診断テスト県平均以上 70%以上(74%)

【地域とともにある学校】

- ◇ 保護者や地域の方々との協働により、「麻生っ子」を育成します
- ◇ 報告・連絡・相談・確認の徹底による共通理解・共通実践
- ◇ 学校における諸課題への早期対応・早期解決に向け、関係機関との連携を強化します
- ◇ 学校運営協議会と協働し、教育改革を推進します
- ◇ 教育活動の様子を発信します

### 豊かな心 《心プロジェクト》

- ◇ 一人一人に寄り添い、心の居場所となる学校づくりを推進します
- ◇ 主体性を育む交流活動や行事を推進します
- ◇ 考え、議論する道徳教育、人権教育を推進します
- ◇ 自己決定して、経験を積み重ねる活動を展開します

【数値目標】 児童対象アンケート

- ☆ 先生たちは、よく話を聞いてくれる 80%以上
- ☆ 学校で、人とふれあうことが楽しい 85%以上
- ☆ 相手の気持ちを考えて行動できた 70%以上

【特色ある学校教育活動】

- ◇ 夢を育み、10年先の自分を思い描いて取り組むキャリア教育の推進
- ◇ 郷土を愛し、SDGsの項目も意識した環境教育の推進
- ◇ 保幼小中11年間の学びの連携
- ◇ 国際教育の推進



### 健やかな体 《体プロジェクト》

- ◇ 体力の向上をめざします
- ◇ 自分や友達、「命」を大切にすることを推進します
- ◇ 交通安全教育・防災教育
- ◇ 基本的な生活習慣の定着をめざします
- ◇ 早寝・早起き・朝ご飯・保健教育・食育

【数値目標】 児童対象アンケート ( )はR6

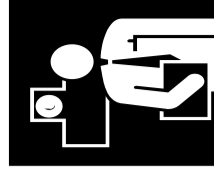
- ☆ 体力テストAまたはB 55%以上(51%)
- ☆ 発達段階に応じた睡眠ができている 90%以上
- ☆ むし歯なし・治療済 85%以上

【教職員の資質向上】

- ◇ 授業研究の推進 相互授業参観
  - ◇ 校内研修・OJT 研修の充実
  - ◇ 自己目標の達成をめざす評価面談の実施
  - ◇ 学校コンプライアンス研修の計画的な実施
- 【数値目標】 ☆ 超過在校時間の学校平均 4.5時間以内



- ☆ **めざす教師像** ☆
- 授業力を磨き続ける教師
- 誠実に向き合う教師
- 組織的・協働的に取り組む教師



Ⅰ 本年度学校経営の評価

(1) 短期目標の達成状況(グランドデザイン)

目 標	目標数値	結果数値
授業で自分の考えを伝えることができた児童	80%以上	86.1%
授業の振り返りで自分の学びを確認できた児童	80%以上	79.5%
県学力診断テスト平均以上の児童	70%以上	3月末調査
先生たちが、よく話を聞いてくれると感じている児童	80%以上	96.9%
学校で、人とふれ合うことが楽しいと感じている児童	85%以上	98.1%
相手の気持ちを考えて行動できた児童	70%以上	95.7%
発達段階に応じた睡眠ができてきている児童	90%以上	92.2%
むし歯なし・治療済の児童	85%以上	86.5%

(2) 学校運営上の統計情報

① 学習指導

令和7年度 茨城県学力診断のためのテスト 平均正答率 (%)

学年	国語(県平均)	社会(県平均)	算数(県平均)	理科(県平均)
第4学年	80.7 (70.8)	80.3 (68.0)	83.1 (65.9)	80.5 (72.4)
第5学年	79.3 (65.8)	85.6 (70.9)	84.3 (67.1)	80.5 (72.0)
第6学年	75.4 (72.0)	75.3 (66.4)	78.5 (68.3)	78.5 (72.5)

② 生徒指導

ア いじめの認知件数

(7) 経年変化 ※ R7は1月末現在 (件)

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
認知件数	117	68	37	55	27	37	92

(1) 令和7年度 月別認知件数と解消件数 (件)

月	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
認知件数	0	4	12	2	13	0	14	25	8	8	6
解消件数		0	0	0	4	12	2	13	0	12	26

イ 不登校児童数推移 ※ 30 日以上の欠席 (人)

年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
R4	0	0	0	0	0	4	4	5	5
R5	0	0	1	2	2	3	3	3	4
R6	0	0	1	1	1	2	2	2	2
R7	0	1	2	3	4	4	4	4	5

③ 体育・保健安全

ア 事故発生件数 (医療機関を受診し、災害共済給付制度の利用がなされたもの)

	月日	学年	場所	活動	概要
令和六年度	5.10	3	昇降口前	中休み	転倒し、右足首関節を剥離骨折
	5.13	3	体育館	各教科等	鬼ごっこで足を捻り、右足首関節を捻挫
	9.11	4	階段	下校時	階段を下りる際に転倒し、左足小指を骨折
	10.7	2	音楽室	昼休み	転倒した際に後頭部を打撲
	11.22	1	運動場	各教科等	地面に手をついた際に左手小指を筋挫傷
	1.30	5	運動場	中休み	地面に手をついた際に左手小指を骨折
令和七年度	2.26	5	教室	昼休み	滑って転倒し、左前額部を打撲
	3.21	3	教室	掃除中	雑巾がけ中に床に歯を打ちつけ、左上前歯を破折
	5.2	2	昇降口	各教科等	転倒し、左側頭部を打撲・挫創
	5.30	1	体育館	各教科等	友達とぶつかって右肘を亜脱臼
	9.4	5	体育館	各教科等	跳び箱に手を着いた際に左前腕部を骨折
	10.29	4	校庭	運動会	転倒し、地面に手を着いた際に左手首を骨折
	11.10	4	体育館	各教科等	跳び箱に手を着いた際に左手関節を捻挫
	12.18	1	校庭	中休み	雲梯から落下し、左肩を打った後に、左肩関節周囲が炎症

イ 虫歯予防・治療 (R7は 1月末現在) (%)

	R3	R4	R5	R6	R7
う歯罹患率	26.0	23.1	26.6	21.6	25.5
受診率	55.9	56.8	78.8	71.4	58.3

④ 勤務状況

月別超過勤務時間の平均 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R4	54.2	44.7	48.1	33.2	6.0	46.2	51.7	39.9	33.9	32.5	36.5	46.2	39.4
R5	46.1	40.9	43.8	31.6	3.0	36.1	39.8	33.4	29.2	25.6	33.4	33.4	33.0
R6	37.9	35.4	33.2	26.9	2.8	30.6	33.0	28.9	24.1	24.5	29.2	30.2	28.0
R7	42.5	32.5	28.0	21.6	2.3	23.1	29.0	30.4	28.4	29.1	35.4		

## 2 成果と課題及び次年度に向けた取組

### (1) 学習指導

#### ① 成果(○)及び課題(●)

- 「授業に主体的に取り組んでいる」児童、「県学力診断のためのテストの県平均を超える」児童について、それぞれ目標を達成することができた。アンケートにおいてほとんどの児童が「授業に主体的に取り組んでいる」と回答し、県学力診断のためのテストの平均正答率は、全学年、全教科において県を大きく上回った。
- 日々の継続的な「評価からの授業改善」に加え、代表授業の参観や研究協議を通し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて組織的な授業改善に取り組むことができた。「麻生小授業スタイル」とともに、「習熟の程度に応じた指導」が定着してきた。
- Teams 等のオンラインコミュニケーションツール、ロイロノート等の学習支援システム、eライブラリ等のデジタルドリルを効果的に活用し、一人一人の学びに合わせた指導の個別化と学習の個性化を図ることができた。
- 学習に躓いている児童、苦手意識をもっている児童が見られる。誰一人取り残すことなく子供たち一人一人が自分の力を最大限に発揮し、確かな学力を身に付けることができるよう、授業の振り返りで児童自身が学びを確認するようにして、組織的・協働的・継続的に取り組んでいく必要がある。

#### ② 次年度に向けた取組

##### ア 学習指導の工夫

- ・ なぜ間違えたのか、どのように考えればよかったのかなど、児童自身に考えさせるようにし、学び直しをする時間を確保する。問題の解き直しを行い、その定着状況を確認する。
- ・ 授業の中で、基礎・基本の定着を図る時間を確保する。また、県の「基礎力アップチャレンジ」や「フォローアップ問題」、「アセスメント問題」等を活用し、児童自ら学ぶ力を育成する。
- ・ 本に親しむ時間(読書、読み聞かせ)を定期的に設け、良本に触れる機会を増やす。また、文章表現や構成等の工夫を味わいながら読み、感じたこと、考えたことを表現する活動を充実させる。

##### イ 家庭学習の工夫

- ・ 「学習の手引き」の活用方法について、定期的に指導する。(月1回、4月は週1回)
- ・ 友達の自主学習ノートを紹介する等、様々な具体的取組を参考にできるようにする。

##### ウ 校内研修の充実

- ・ 学校の研究主題を全職員で意識し、軌を一にした取組を行う。
- ・ 働き方改革を推進し、教材研究の時間を確保する。
- ・ 「全国学力・学習状況調査」や「県学力診断のためのテスト」の結果分析をもとに、具体的な改善策を組織的に講じる。

##### エ 麻生小授業スタイルに則った学習指導

- ・ 授業スタイルや評価の在り方について共通理解を図る。
- ・ 幼小中が連携し学びの系統化を図る(アプローチ・カリキュラム、スタート・カリキュラムの実践)。

## (2) 生徒指導

### ① 成果(○)及び課題(●)

- 「自分にはよいところがあると思う児童」「行事や係、委員会活動に進んで取り組む児童」「自分からあいさつをしている児童」について、いずれも目標を達成することができた。よいところや活躍の場面を見付け、伝え、伸ばしていくという姿勢を教職員一人一人が理解し、実践した成果と捉えている。また、豊かな心チームを中心としたあいさつ向上プロジェクトは、児童の主體的な取組に結び付き、大きな成果をあげた。
- 教職員全員による観察・見守りと学校生活アンケートを活用した教育相談等により、新規不登校児童出現の未然防止に努めたが、不登校発生率が増加してしまった。
- 全ての児童が「自分にはよいところがある」「いじめはいけないと考える」、「命の大切さを理解している」ようにする。

### ② 次年度に向けた取組

#### ア 学校における組織的な取組

- ・ 道徳教育や特別活動など学校教育活動全体を通して、「自己肯定感・自己有用感」、「互いの人格の尊重」、「命の大切さ」に関する指導を実践する。
- ・ 担任(担当)が一人で抱え込むことなく、ケース会議等、組織での対応を継続・充実する。
- ・ アセスメントを充実させ、児童理解に基づき、傾聴の姿勢を大切にし、児童に寄り添う姿勢で生徒指導を展開する。
- ・ 普段からの情報共有のもと、複数で対応する意識を職員がもち、未然防止に努める。
- ・ チームで関わるようにし、速やかに学年、管理職、生徒指導主事で情報共有し、初期対応を重視した対応を心掛ける。

#### イ 家庭との連携

- ・ 家庭の状況や家族の立場に寄り添い、子供を中心とした協力関係を築く。
- ・ 適切かつ迅速で、きめ細かな保護者との連携に努める。

#### ウ 地域との連携

- ・ 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を推進し、地域との連携・協働を促進する。
- ・ 地域の人材を積極的に活用し、地域と一体となって児童を育てていく。

### (3) 体育・保健安全教育

#### ① 成果(○)及び課題(●)

- 「進んで運動に取り組んでいる児童」は、目標値を大きく上回った。体力テスト A+B の割合は、本県の目標には届かなかったものの、昨年度比で 10 ポイント以上増加した。
- 保護者の理解・協力のもと、感染拡大防止策の徹底に努めてきたため、学級閉鎖措置を1度もとることなく、クラスターの発生を抑制できた。
- 歯の健康に関する啓発活動により、う歯罹患率や受診率が改善傾向にある。
- 体力テストA+Bの割合について、本県の目標達成を目差す。
- 転倒による怪我が比較的多く発生している。
- う歯罹患率の減少や受診率の向上を目差し、啓発活動を継続していく必要がある。

#### ② 次年度に向けた取組

##### ア 体力向上のための教育の充実

- ・ 児童一人一人に応じ、適切な目標設定を行うとともに、達成に向けて運動量を確保する。
- ・ 学年の課題に応じた体力向上運動を実施する。
- ・ 休み時間を活用した「体力向上運動」や「ランニングタイム」を行う。

##### イ 危険予測・回避能力向上のための教育の充実

- ・ 危険を予測し、安全な行動をとることができるよう、事例をもとにした指導や助言を行う。
- ・ 子供を取り巻く環境の変化に応じた実践的・体験的な交通安全教室、防災教室等を実施する。

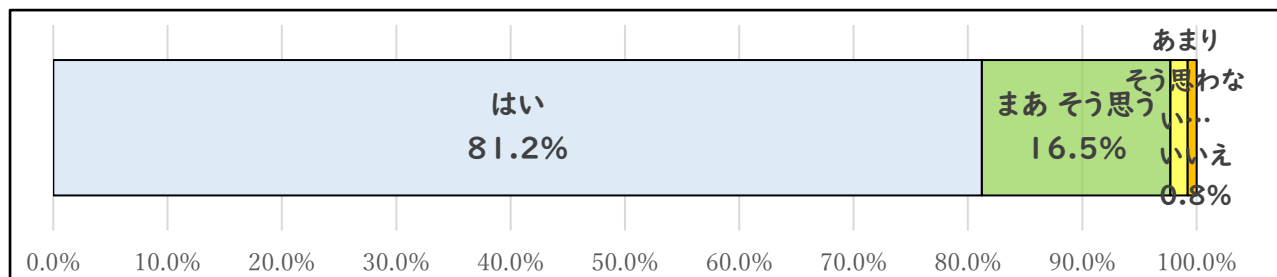
##### ウ 歯磨き指導の充実

- ・ 学校歯科医や関係機関、保護者と連携し、歯の磨き方の改善を図るとともに、家庭においても日常的に実践できるようにす

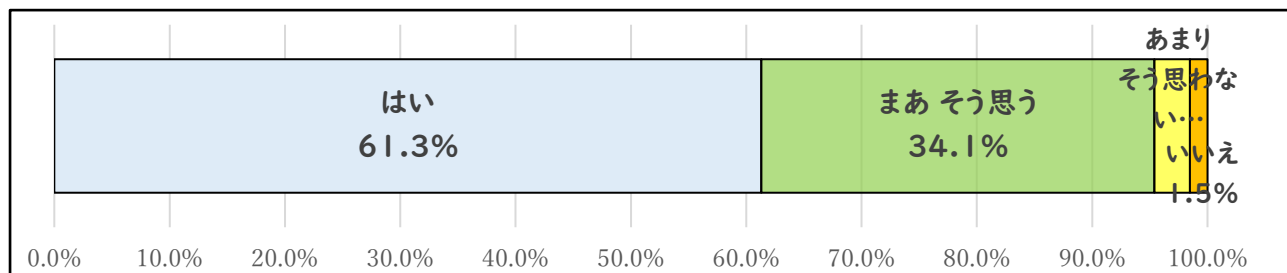


# 令和7年度後期 行方市立麻生小学校 学校評価アンケート(児童対象)結果

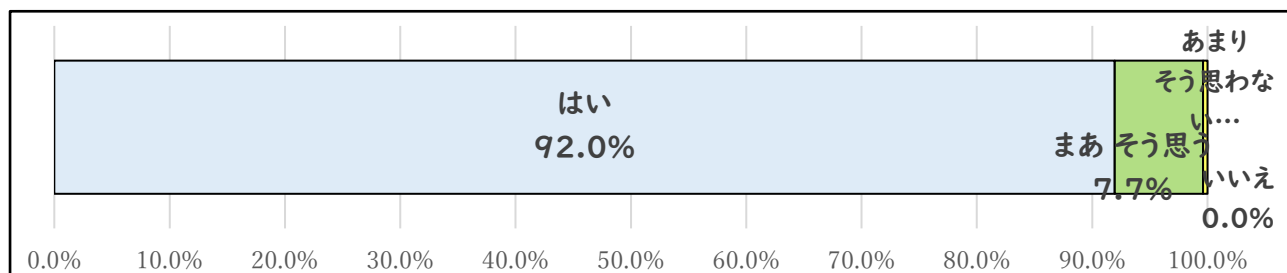
1 あなたは、夢や目標をもって生活していますか



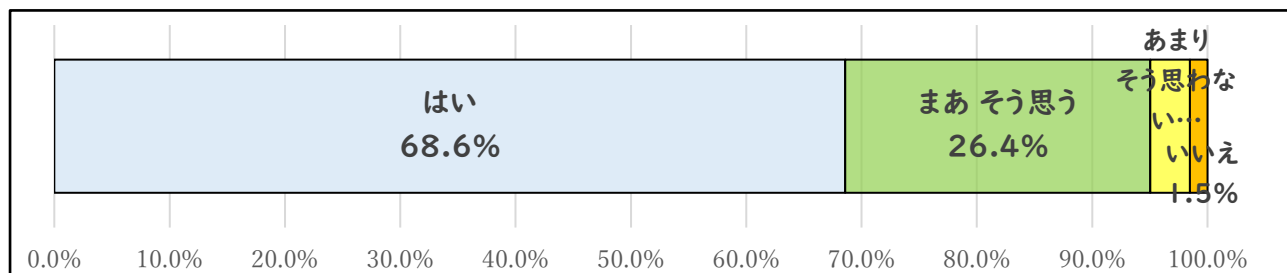
2 あなたは、友達と話し合うと、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



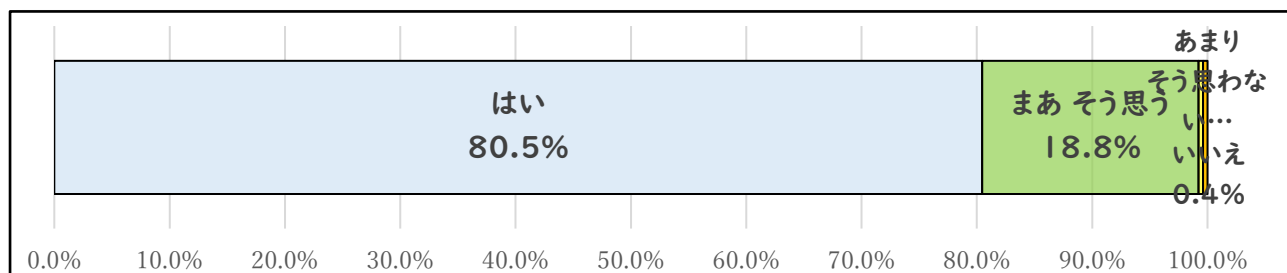
3 命は 大切だと思いますか



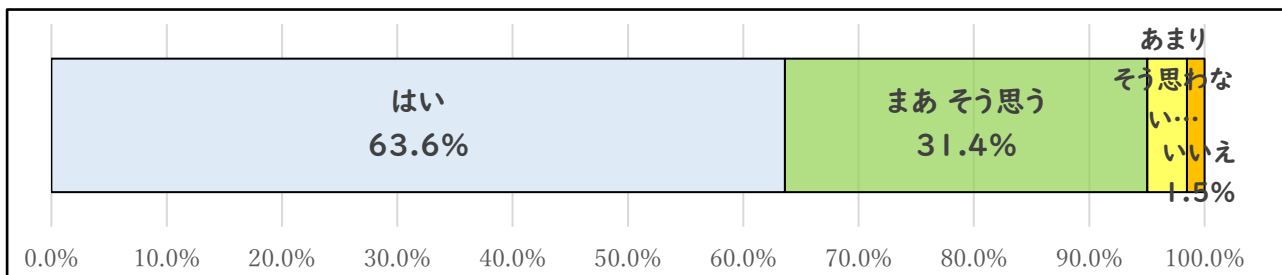
4 あなたは、すすんで運動に取り組んでいますか



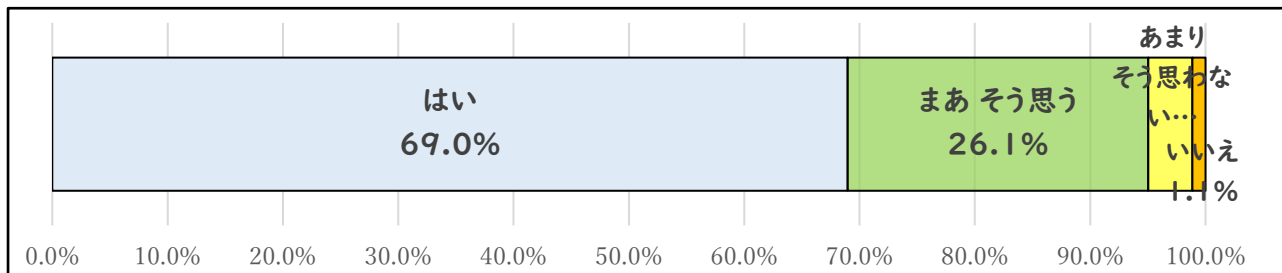
5 あなたは、安全に気を付けて生活していますか



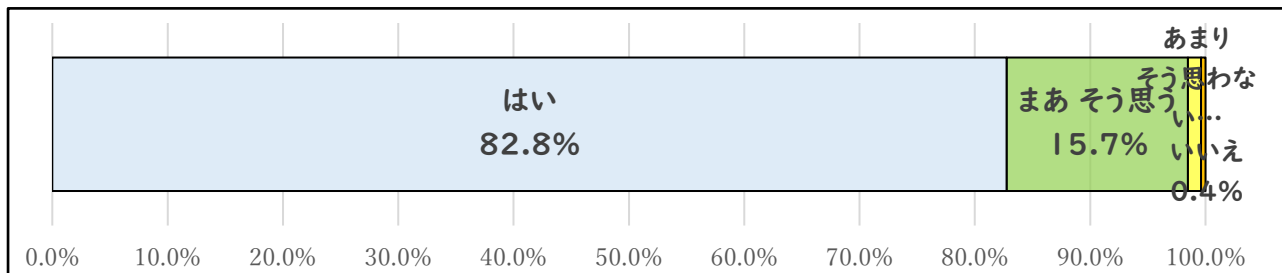
6 あなたは、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯・歯みがき）が身に付いていますか



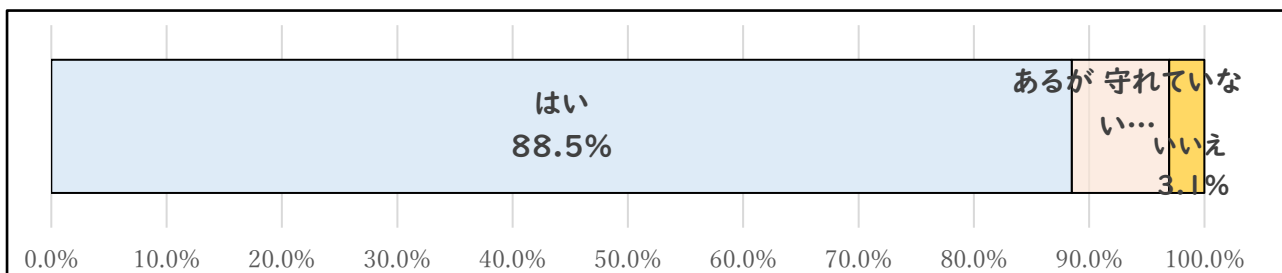
7 あなたは、自分からあいさつすることができていますか



8 あなたは、行事や係、当番、委員会の活動に進んで取り組んでいますか



9 通信機器(ゲーム機, スマホ, パソコンなど)の使い方について、おうちの人との約束がありますか

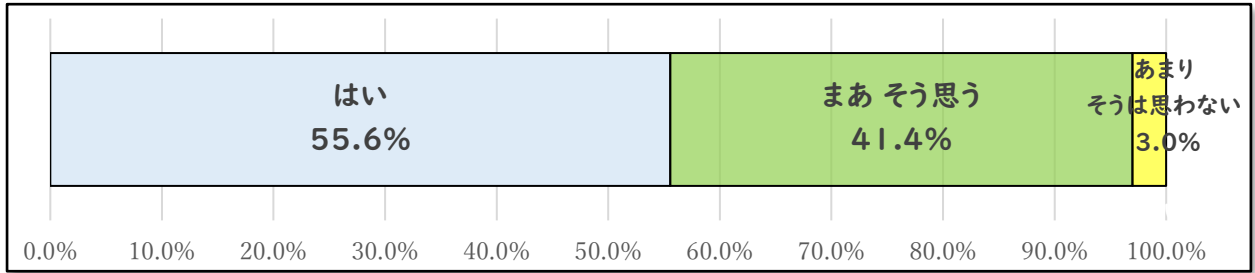


## 集計の結果から

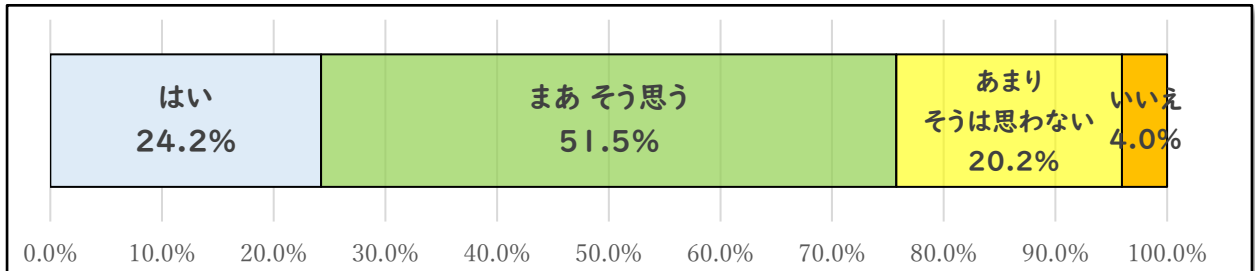
- 各項目において肯定的な回答が多い結果となりました。特に、項目5については、前期に比べ「はい」の割合が大きく増加しました。一方で、わずかでも否定的な回答をしている児童がいることに目を向け、よりよい学校生活が送れるよう引き続き努力してまいります。
- 項目4においては、前期に比べ肯定的な回答の割合が減少しました。目標を立てて臨む体育の授業、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる活動の工夫、健康の重要性や運動の利点についての啓発等により、進んで運動に取り組む態度を養ってまいります。
- 項目6においては、肯定的な回答が94%でした。今後も、担任や養護教諭、栄養教諭による健康保健指導、食育指導を継続していきます。ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ご飯・歯みがき」を合い言葉に、基本的な生活習慣の定着に引き続きご協力をお願いいたします。よい歯の児童が増加していることも励みとして、歯みがきを奨励していきます。
- 項目9において、通信機器の使い方について家の人との約束があり、かつ守れている児童は、約87%でした。児童が犯罪やトラブルなどに巻き込まれたり、健康を害したりしないよう、今後も家庭と連携した指導を行っていきたいと考えております。ご家庭でも、約束の徹底、使用状況の把握等、引き続きご協力をお願いいたします。

# 令和7年度後期 行方市立麻生小学校 学校評価アンケート(保護者の方対象)結果

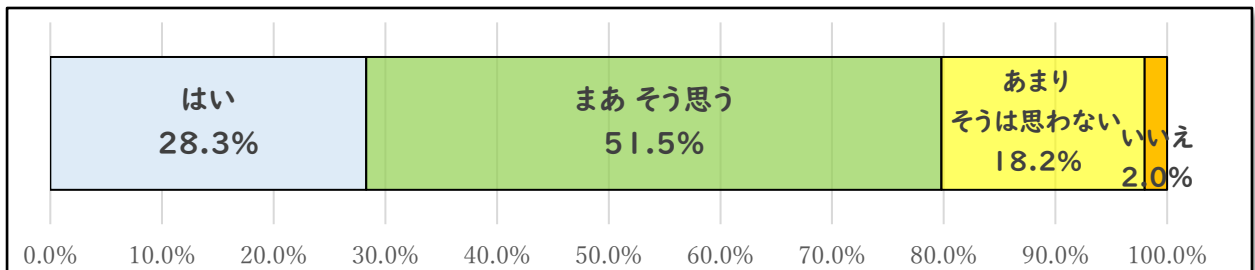
1 お子さんは、学校が楽しいと感じていると思いますか



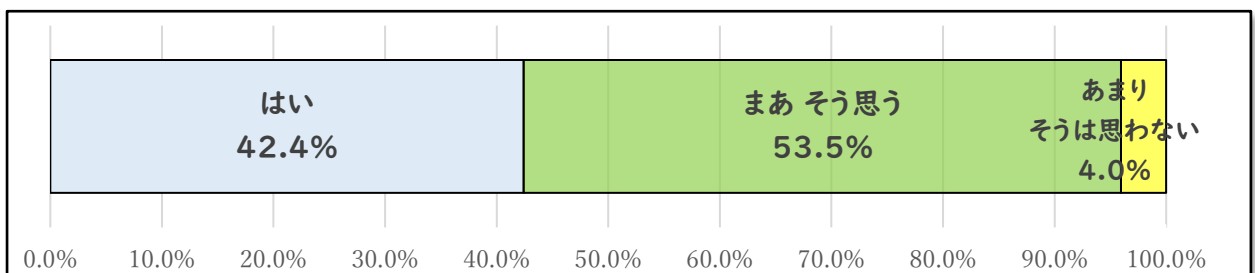
2 お子さんは、家庭学習（塾での学習も含む）にきちんと取り組んでいると思いますか



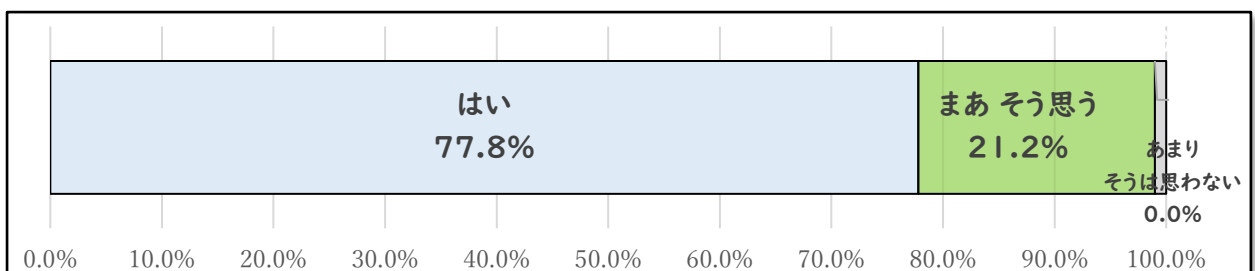
3 お子さんは、毎日の健康管理(早寝・早起き・朝ご飯、歯磨き、運動など)ができていますか



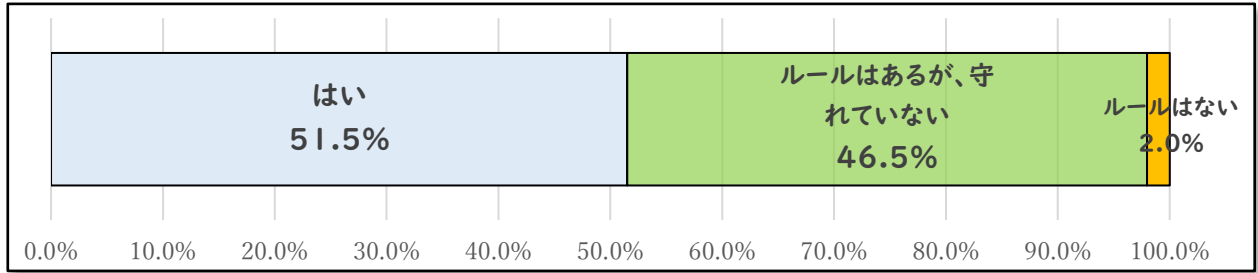
4 お子さんは、自分によいところがあると感じていると思いますか



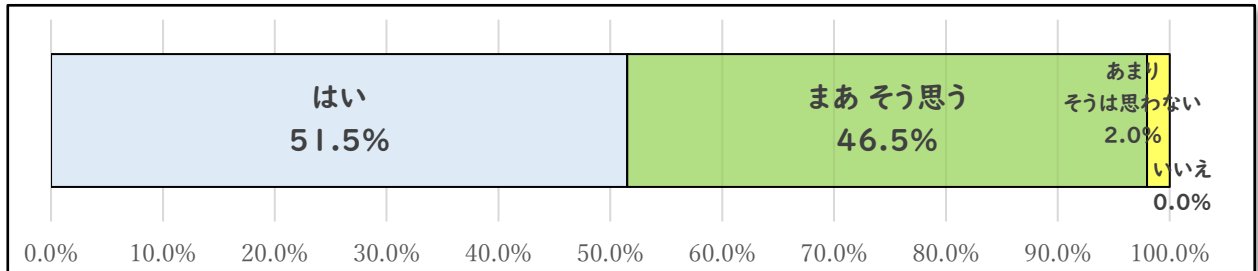
5 お子さんは、いじめはどんなことがあってもいけないことを理解していると思いますか



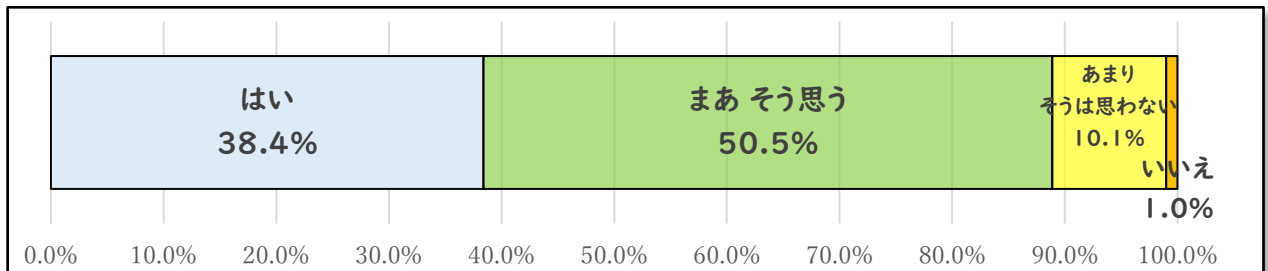
6 通信機器（ゲーム機、スマホ、PCなど）の使い方について、お子さんとのルールがありますか



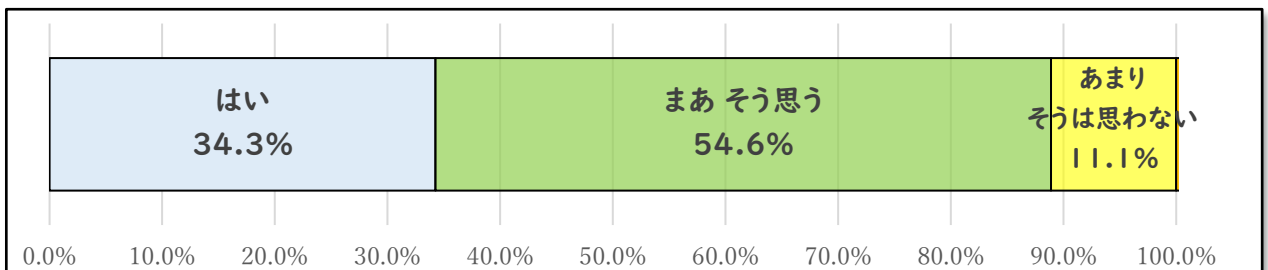
7 学校は、お子さんを事故や事件、災害から守るための指導をしていると思いますか



8 学校は、気になることを相談しやすい雰囲気がありますか



9 学校は、家庭や地域と協力して児童の成長を支援していると思いますか



### 集計の結果から

- 後期も、各項目において概ね肯定的な回答をいただきました。また、課題点も明らかになりました。課題の解決に向けた改善策を検討するなど、よりよい教育活動が展開できるよう引き続き努力してまいります。
- 特に、項目1の「楽しく学校生活を送ること」、項目4の「自己肯定感を高めること」、項目5の「いじめを許さない心をもつこと」に関しましては、さらに肯定的回答率の向上を目指していきます。児童の様子について不安を感じておられる保護者の方は、是非、個別にご相談いただければと思います。
- 項目2においては、前期と同様に家庭学習の習慣化が不十分であることが分かりました。引き続き学ぶ楽しさや喜びを実感できる授業改善を進め、家庭においても自ら学ぼうとする意欲の向上を図ってまいります。また、目標を立てる、学習時間を定めるなどの助言や、学習内容の例示など、児童が取り組みやすくなるよう支援してまいります。

- 項目7については、今後も継続して安全教育の充実を図ってまいります。特に、児童が自分で危険を予測したり、自ら判断して回避したり、自助、互助できるような力の育成を重視し、安全な生活を送れるようにしていきます。
- 項目9においては、学校が家庭や地域とつながりながらのために、PTA各委員会や学校運営協議会と協力して、児童の成長を支援できるような取組を企画していきます。

### 自由記述からのご意見について

#### ○ 学習指導について

- ・ 基礎・基本の定着を大切にしながら、一人一人の児童の学びに寄り添った学習指導を実践し、県の学力診断のためのテストでも成果をあげることができました。
- ・ 家庭学習の取組については課題が見られます。授業以外での学習が授業の理解につながるよう、学習の仕方やグッドモデルを紹介するなどして、児童の意欲を高めます。また、一人一台端末によるデジタルドリル活用や目的意識をもって取り組む態度の醸成に努めていきます。
- ・ 児童の「できた」「わかった」を大切に授業を目指して指導しています。

#### ○ 生徒指導について

- ・ 一人一人を大切に、よいところを認め、褒めて伸ばす姿勢を基本としていますが、問題点や改善すべき点がある場合は指導をさせていただきます。善悪の判断をきちんとし、思いやりのある行動がとれるよう、保護者の皆様にもご協力いただきながら、児童の健やかな成長を支援していきたいと思っております。また、指導の仕方につきましても、できるだけ複数の教員で対応し、児童の話を丁寧に聞き、納得感のある適切な指導を心掛けてまいります。
- ・ 教職員全員が言語環境に十分気を付けながら、児童を一人の人間として尊重しながら向き合い、児童の成長のために支援していきます。
- ・ 担任だけでなく教職員全員で連携し、休み時間や清掃の時間等の児童の様子に目を配っておりますが、何か気になることや心配なこと等がございましたら、遠慮なくその都度ご連絡ください。
- ・ 安全な登下校の仕方につきましては、日常的な学級での指導や定期的な下校指導、交通安全教室等を通して繰り返し指導してまいります。

#### ○ 学校行事等について

- ・ 遠足や運動会、卒業式等の学校行事につきましては、昨年度の反省や保護者の皆様からの様々なお意見をもとに、よりよいものになるよう検討してまいります。
- ・ 運動会の平日開催に際しましてはご理解、ご協力いただきましてありがとうございました。次年度以降も平日での開催を計画していますので、ご協力お願いいたします。

○ 学校の施設・設備について

- ・ 社会や気候の状況、児童のニーズを踏まえ、より快適に生活できるよう、予算の範囲内で少しずつ環境整備・設備導入を進めてまいります。また、施設改善等、大がかりなものに関しましては、市への要望を続けてまいります。

○ 学校からのお知らせについて

- ・ 保護者の皆様への文書につきましては、メールによる配信等、デジタル化を検討してまいります。
- ・ 令和8年度より「オクレンジャー」を廃止し、市内統一で「リーバー」を使用します。毎朝の出欠連絡、学校、市教育委員会等からの配信が「リーバー」に統一されます。

○ 保護者の皆様からの相談について

- ・ 保護者の皆様の立場に立って考え、一つ一つの相談に対して丁寧で誠意ある対応ができるよう全職員が心掛けることで、今後も、相談しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。

※その他、個別の案件につきましては、各学級、学年において対応させていただきます。学校は、児童の健やかな成長のために、保護者の皆さまと同じ方向を向いて連携・協力していきたいと考えておりますので、いつでも気軽に声をかけやすい職員に、ご相談、ご意見、ご質問をお寄せいただければ幸いです。

お忙しい中、アンケートへのご回答、そして様々なご意見をありがとうございました。真摯に受け止め、今後の本校教育活動に生かしてまいります。

担任や職員への励ましの言葉もたくさんいただきました。学校と家庭が共に協力して児童の成長を支えていくことが大切と考えております。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

行方市立麻生小学校 職員一同

令和7年度 行方市立麻生小学校 日課表及び勤務表

時刻	校時	月	火	水	金	時刻	木	
8:00	登校						8:00	登校
8:10		朝の読書タイム					8:10	朝の読書タイム
8:20		朝の会					8:20	朝の会
8:25	準備(5)	休み時間(5)					8:25	休み時間(5)
9:10	1校時(45)	1	2	3	5	9:10	4	
9:15	準備(5)	休み時間(5)					9:15	休み時間(5)
10:00	2校時(45)	6	7	8	10	10:00	9	
10:20	休憩(15) 準備(5)	中休み(20)					10:20	中休み(20)
11:05	3校時(45)	11	12	13	15	11:05	14	
11:10	準備(5)	休み時間(5)					11:10	休み時間(5)
11:55	4校時(45)	16	17	18	20	11:55	19	
12:45	給食(50)	給食(50)					12:45	給食(50)
13:15	昼休み	昼休み(30)	のびのび タイム(45)	昼休み(30)		13:00	昼休み(15)	
13:30	清掃 麻生っ子タイム	清掃(15)		清掃(15)	清掃(15)	13:05	準備(5)	
13:35	準備	準備(5)					13:05	24
14:20	5校時(45)	21	22	23	25	13:50	休み時間(5)	
14:25		帰りの会(10)	休み時間(5)			13:55	28	
15:10	6校時(45)	クラブ・委員会 14:35～15:20	26	27	29	14:40	帰りの会(10)	
15:20	5時間授業 下校14:40	帰りの会(10)				14:50	下校15:00	
	職員会議 職員研修 事務処理	下校15:30				15:00	5時間授業 下校14:10	
		1週:委員会活動 2週:クラブ活動 3・4・5週:研修	のびのびタイム 児童集会 縦割り班活動 体力向上運動	職員研修 事務処理	職員研修 職員終会		職員会議 職員研修 事務処理	
		職員会議 職員研修 企画会	個人研修 事務処理					
各学年の 授業	5時間授業	1～6年	1・2年	1・3年	1・2年		1・2年	
	6時間授業	クラブ4～6年 委員会5～6年	3～6年	2・4～6年	3～6年		3～6年	

職員勤務表

	月曜日から金曜日まで		
	勤務開始	休憩	勤務終了
校長、教頭、教務 養教、主査、用務員	8:00	12:10～12:55(45分)	16:30
上記以外の職員	8:00	10:00～10:15(15分) 12:45～13:15(30分)	16:30

